



蘭越町農業集落排水事業 経営戦略 概要版

計画期間

2026(令和8)年度 ~ 2035(令和17)年度

発行

蘭越町建設課

2026年3月

事業の概要

建設開始 1989（平成元）年7月17日

供用開始 1993（平成6）年6月1日

処理場数/処理区数 3箇所 / 3処理

処理区域内人口密度 18.18人 / ha

地方公営企業法 2023（令和5）年4月1日より一部適用

主な経営課題

1. 人口減少による減収

処理区域内人口は減少傾向にあり、使用料収入が減少しています。今後も人口減少が続くと予測され、経営への影響が懸念されます。

2. 財源不足と赤字構造

汚水処理原価が高く、使用料収入だけではコストを賄えません。一般会計からの多額の繰入金（赤字補填）に依存しています。

主要経営指標の分析

※比較対象：道内類似団体平均（管内平均）

指標項目	蘭越町（実績）	管内平均・目標	評価
経常収支比率 総収益 ÷ 総費用	104.76%	105.04% 目標: 100%以上	黒字経営 低い▼
経費回収率 使用料収入 ÷ 汚水処理費	26.94%	46.30% 目標: 100%以上	原価割れ 低い▼
汚水処理原価 汚水処理に係るコスト	551.5円	440.64円 管内平均	高コスト 高い▼
有収率 料金になる水の割合	85.03%	79.98% 管内平均	ロス少 高い▲

◎ 経営の基本方針

公営企業の基本原則である「独立採算」を目指しながら、以下の3点を重点として経営を推進します。

1

強靱な農業集落排水施設の確保

予防保全型の対策から施設の健全性を保ち、民間活力の活用などを通じて、効率的な施設の管理と更新を行います。

2

危機管理体制の強化

災害時においても事業を継続して実施するため、被災地の体制強化を図ります。

3

経営の健全化と経営基盤の強化

生活排水を適正に処理し、地域環境の保全と公衆衛生を守り抜きます。

📈 2035年度 数値目標

目標①

経費回収率

汚水処理費に対する使用料収入の割合を維持

30%
TARGET

現状 (2023) → 目標 (2035)
26.94% → **30%**

目標②

基準外繰入金の削減

一般会計に対する負担割合の軽減

1,125百万円
TARGET

現状 (2035) → 目標 (2035)
1,159百万円 → **1,125百万円**

投資計画（2026～2035年度）

計画期間 投資総額

投資予定なし

(10年間累計)

主な投資内容

投資財源

投資予定が無いことから、財源の予定なし。

実行体制



進捗管理と見直し（PDCAサイクル）

